



アカデミック スキルガイド Academic Skills Guides

1 サービス案内編

2 テーマ設定編

3 資料収集編

4 評価・整理編

5 成果発信編

Guide 1-1

データベースや電子ジャーナル、電子ブックに キャンパス外からアクセスする

キャンパス外からもデータベースや電子ジャーナル、電子ブックを利用したい！そんな要望にお応えするのがリモートアクセスサービスです。

▶ リモートアクセスサービスの利用方法

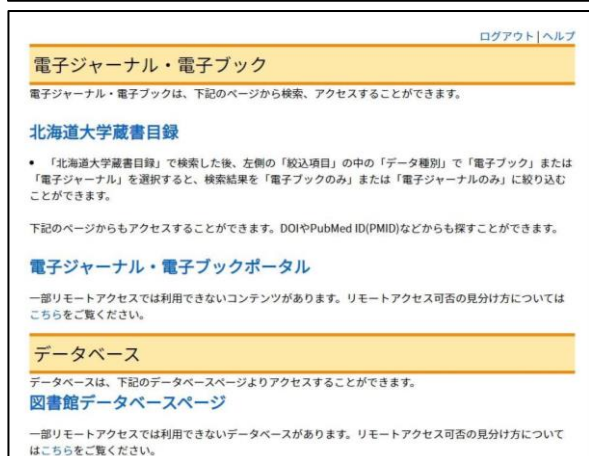
①



「附属図書館トップページ > リモートアクセスサービス > ログインボタン」で ID とパスワードを入力してください。

学生・教職員は「北大 SSO」を使ったログインになります。教職員は事前に北大 SSO のワンタイムパスワードの設定が必要です。

②



【電子ジャーナル・電子ブック】

- ・「北海道大学蔵書目録」の検索結果から、電子ジャーナル、電子ブックへアクセスすることができます。
- ・「電子ジャーナル・電子ブックポータルページ」では、タイトル、ISSN/ISBN、分野で検索できるほか、プラットフォーム一覧からアクセスすることもできます。また、DOI、PubMed ID (PMID)で検索し、直接論文へアクセスすることもできます。

【データベース】

- ・「図書館データベースページ」のデータベースのリストからアクセスすることができます。
- ・「多読の電子ブック」では、英語多読マラソン等へアクセスできます。

- ・ 正しくアクセスできていると、URL に「ezoris-hokudai.idm.oclc.org」が含まれています。うまく接続できないときは URL を確認し表示されるまで戻ってください。
- ・ 利用終了後は「ログアウト」をクリックするか、ブラウザを閉じてください。(特に複数人で使用する環境の場合)

[補足]

- ・ 北海道大学と電子ジャーナル・データベースの提供元との利用許諾契約に基づいて提供しています。
- ・ このサービスを利用できるのは、北海道大学構成員（学部学生・大学院生・教職員ほか北大に在籍している方）です。
- ・ 一部利用できない電子ジャーナル・データベースもあります。
- ・ このサービスの認証は、情報環境推進本部で運用している「共用パソコン不正利用防止策で構築された認証システム」を使用しています（名誉教授を除く）。



電子ジャーナル、電子ブックのリモートアクセス可否の見分け方

北海道大学蔵書目録から検索して、電子ジャーナル（または電子ブック）のタイトルをクリックします。

利用可能範囲および提供元を確認します。[R]アイコン  がついているものがリモートアクセス可能。また[Free]アイコン  がついているものは無料なので、リモートアクセスに関係なく読むことができます。



データベースのリモートアクセス可否の見分け方



[R]アイコン  がついているものがリモートアクセス可能。また[Free]アイコン  がついているものは無料なので、リモートアクセスに関係なく読むことができます。



よく利用する電子ジャーナル、電子ブック、データベースへのアクセス方法 Tips

ほとんどのコンテンツやデータベースは以下の方法でログイン後すぐにアクセスできます。使うものが決まっており、頻繁に利用する場合はぜひお試しください。

- 1) リモートアクセスにログインする。
- 2) 北海道大学蔵書目録やデータベースページ等をたどり、目的のコンテンツやデータベースを表示する。
- 3) URL に「ezoris-hokudai.idm.oclc.org」という文字列が含まれていることを確認する。
- 4) URL をブラウザに保存する。
- 5) 後日、リモートアクセスにログインしていない状態で、保存した URL を開くとまずはログイン画面が表示される。ログインすると保存したページがすぐに利用できる。
- 6) 公共の PC で利用の場合、使用後はブラウザのウィンドウを閉じること。